

平成27年度第1回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成27年5月14日（木） 10:00 ～ 11:00

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

東川 薫

伊藤由美子

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（5名）

水谷 正雄（総務部長）

丹羽 孝至（契約監理課 課長）

加藤 一吉（ ” 課長補佐兼検査指導係長）

伊藤奈雄図（ ” 課長補佐兼契約係長）

藤堂 真志（ ” 契約係）

工事担当課（4名）

小林 隆司（建築住宅課 課長）

加藤 和広（桑名駅周辺整備事務所 所長）

伊藤 一成（ ” 駅西工務・補償係長）

森 祥和（ ” 駅西工務・補償係主査）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。

本日は、ご多忙の中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから平成27年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

なお、本日は、赤木委員から所用で欠席する旨のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。また、藤田委員につきましては、多分おくれて見えるのかなと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは、最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

おはようございます。総務部長の水谷でございます。

皆様方には、何かとお忙しい中、本年度第1回目の入札監視委員会にご出席をいただきましてまことにありがとうございます。また、今月からの新しい任期におきましても引き続き委員としてお世話をいただけますことに対しまして、改めまして御礼を申し上げます。

さて、先月23日には、委員会での審議内容を踏まえて入札・契約制度に関する意見書をいただきました。頂戴したご意見、ご提言に沿って制度の改善を進めてまいります。このように、皆様からのご意見をいただきながら、入札、契約の制度をよりよいものにしてまいる私どもの部署、事業の設計、積算

から執行を所管する部署、また、職員倫理の向上を担当する人事課、皆が挙げて公共工事等の適切な実施に取り組まなければならないと考えております。

委員の皆様方には、今後とも、それぞれご専門のお立場から忌憚なくご指摘を賜りますようお願いを申し上げます。甚だ簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## 2 議 事

### (1) 委員長・副委員長の選任について

#### 【事務局】

改めまして、先月の23日には、市長まで意見書をご提出いただきましてありがとうございます。また、引き続き当委員会の委員にご就任いただき、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

次に、議事の進行についてですが、5月1日付で改めて委員に就任していただいて初めての委員会となりますので、委員長の選任をしていただくまでは事務局のほうで進めさせていただきます。

なお、議事の(1)につきましては、人事案件でございますので非公開とさせていただきます。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、議事(1)委員長・副委員長の選任でございますが、選任につきましては、桑名市入札監視委員会条例第4条第2項の規定により、互選によって定めていただくことになっております。ご意見等がございましたらご発言をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### 【委 員】

委員全員再任ですので、引き続き東川先生に委員長をお願いしたらと思うんですが。

#### 【委 員】

異議なし。

#### 【委 員】

異議なし。

#### 【事務局】

東川委員、お引き受けいただけますでしょうか。

#### 【委 員】

はい、了承いたしました。

#### 【事務局】

よろしくお願いいたします。

それでは、東川委員に委員長をお願いしたいと思います。

東川委員長から就任のご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(委員長席への移動)

#### 【委員長】

ただいま、引き続き委員長のほうをさせていただくことになりました東川でございます。

今回、偶然メンバーは変わらないということなんですけれども、いつも言っております、ほんとうに

入札をめぐる状況というのは非常にダイナミックに変化を遂げるものですので、今日の中身の中にも新しい指針のご説明もまたしていただくということで、メンバーは変わりませんが、勉強しながら引き続きしっかりとやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、続きまして、副委員長の選任を行いたいと思います。

副委員長の選任につきましても、条例の規定によりまして、委員の互選で定めるということになっております。皆様、何かご意見とか、ございませんでしょうか。

【委 員】

同じような理由で、伊藤先生に引き続き副委員長をお願いしたらと思いますけど。

【委員長】

ほかにご意見等はございますか。

【委 員】

異議なし。

【委 員】

異議なし。

【委員長】

私も異議がございませんので、それでは、伊藤先生、お引き受けいただけますでしょうか。

【委 員】

はい。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、引き続き副委員長のほうは伊藤先生をお願いしたいと思います。

なお、本日の会議は、いつものとおり一般公開とされております。これ以降の審議につきましては、本日は傍聴を希望される方がいらっしゃるようなので、許可したいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

【委 員】

はい。

【委員長】

ありがとうございます。

それでは、傍聴人の方に入場していただくため、しばらくお待ちください。

(傍聴人 入室)

【委員長】

それでは、傍聴の皆様、お待たせいたしました。本委員会での写真及び映像につきましては、頭出しの部分に限らせていただいておりますので、その点はよろしくお願いいたします。

それでは、審議を再開いたします。

本日、これまでに議事(1)の委員長及び副委員長の選任について審議をさせていただいております。委員長には、私、東川、また、副委員長には伊藤委員が選任されました。以上がこれまでの審議内容の報告でございます。

## (2) 平成27年度の入札制度の改正について

### 【委員長】

それでは、議事の(2)になります。平成27年度の入札制度の改正につきまして、事務局のほうから説明をお願いします。

### 【事務局】

改めまして、おはようございます。事務局の伊藤でございます。

座って失礼させていただきます。

それでは、平成27年度の入札契約制度の変更等についてご報告をさせていただきます。

資料のほうは、1ページをお願いいたします。

本年度につきましては、大きな入札制度の変更は行っておりませんので、2点とも継続のものとなっております。

1点目といたしましては、緊急経済対策の延長についてということで、予定価格1億5,000万円未満の建設工事の原則市内優先発注を平成28年3月31日まで、1年間延長をさせていただきました。

続きまして、2点目でございますが、地域建設業経営強化融資制度の延長についてということでございまして、建設投資の大幅な減少、厳しい金融環境等により厳しい経営環境に直面してきた中小の中堅建設業者の資金調達を支援するために、国において地域建設業経営強化融資制度が平成20年に設けられまして、平成26年度まで継続して運用されてまいりました。今年度につきましても、その制度のほうで1年延長されましたので、本市におきましても、本制度の運用を1年間、平成28年3月31日まで延長したものでございます。

以上でございます。

### 【委員長】

ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

### 【委員】

(特になし)

## (3) 入札及び契約手続きの運用状況について

### 【委員長】

それでは、次の議事の(3)に入りたいと思います。入札及び契約手続の運用状況につきまして、事務局のほうから報告をお願いします。

### 【事務局】

入札及び契約手続の運用状況についてご報告をさせていただきます。

まず、指名停止の状況でございますけれども、資料のほうは2ページのほうをお願いいたします。

今回の審議対象期間であります平成27年1月から3月までの3カ月間に指名停止措置を講じたのは、資料のとおり、3件でございます。

主なものとして、本市のほうで独自に指名停止措置を講じた案件につきましてご説明をさせていただきます。

一番右の案件をごらんいただけますでしょうか。こちらのほう、堀田建築が本市発注工事におきまして、現場代理人を常駐させずに施工しておりました。このことにつきまして、工事請負契約書の条項第10条第2項に違反することとなります。桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第1第7項の契

約違反にこのことが該当いたしますので、当該事業者に対しまして2カ月間の指名停止措置を講じたものでございます。

他の2件につきましては、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして、本市のほうでも同等の措置を講じたものでございます。

続きまして、談合情報の状況でございますけれども、こちらのほうは、対象期間中に寄せられたものはございませんでした。

続きまして、最後に本年1月30日に定められました発注関係事務の運用に関する指針に対する本市の取り組み状況についてご報告をさせていただきます。

資料のほうは、別冊のほうのとじさせていただきます発注関係事務の運用に関する指針のほうをお願いいたします。

この指針につきましては、公共工事の品質確保の促進に関する法律、略されましてよく品確法と言われるものでございますけれども、そちらの法律の規定に基づきまして、公共工事の発注者共通の指針として、発注関係事務の調査及び設計段階、工事発注準備段階、入札契約段階、工事施工段階、完成後の各段階において取り組むべき事項や、多様な入札契約方式の選択、活用について体系的にまとめられたものでございます。

この指針の中には、必ず実施すべき事項と実施に努める事項があります。本日ににつきましては、必ず実施すべき事項であります5項目につきましては、本市の状況についてご説明をさせていただきます。

まず、1点目、2点目、まとめてになるんですけれども、資料のほうは4ページのほうをお願いできますでしょうか。

こちらのほう、工事発注準備段階の中になりますけれども、4点目の適正利潤の確保を可能とするための予定価格の設定というところの中になります。予定価格の適正な設定と歩切りの根絶ということで、必ず取り組むべき事項とされております。

予定価格の設定につきましては、適正な利潤を確保できるよう、積算に当たっては、適正な工期を前提として最新の積算基準を適用することとされております。本市におきましては、標準工期に基づき工期を設定させていただき、積算基準につきましても最新のものを使用させていただいているところでございます。

2点目の歩切りの根絶についてでございますが、歩切りといいますのは、積算されました設計金額の一部をランダムに発生させた係数などを乗じるなどして一部を控除して予定価格とすることと規定されておりますけれども、こちらのほうは、品確法の規定に違反することとなっておりますので、本市のほうでは、設計金額を予定価格として適正に設定をさせていただいております。

続きまして、3点目のほうになりますけれども、資料のほうは6ページをお願いいたします。

こちらのほう、入札契約段階の中になります。ダンピング受注の防止、予定価格の事後公表というところになりますけれども、こちらのほう、低入札価格調査基準または最低制限価格の適正な活用の徹底と予定価格の事後公表ということで、必ず実施すべき事項として挙げられております。本市におきましては、最低制限価格制度を基本といたしまして、総合評価落札方式と予定価格が1億円を超える工事につきましては、原則として低入札価格調査制度を導入しております。

あと予定価格の事後公表につきましては、本市では、今のところ、事前公表という形でさせていただいております。こちらのほう、ダンピング受注の防止、予定価格の事後公表の15行目からになりますけれども、なお、地方公共団体においては、予定価格の事前公表を禁止する法令の規定はないが、予定価格の事前公表を行う場合には、その適否について十分検討するとともに、適切な積算を行わずに入札を行った建設業者がくじ引きの結果により受注するなど、建設業者の技術力や経営力による適正な競争を損ねる弊害が生じないよう適切に取り扱うものとする。弊害が生じた場合には、速やかに事前公表の取りやめ等の適切な措置を講じるとされておりますことと、本市では、平成23年度に最低制限価格の漏えいという不祥事が発生しておりますので、こちらのほう、職員への不正な働きかけを防止する観点から、今のところは予定価格のほうは事前公表という形で運用をさせていただいております。

県内におきましても、三重県のほうで、基本的には事前公表で、昨年度から、年間、各建設事務所に  
おいて2件程度、事後公表の試行を行っているところでありますので、本市におきましても、今後の検  
討課題として、県内の他市町の状況を確認しながら検討を進めてまいりたいと考えています。

次に、4点目でございます。資料のほうは9ページをお願いいたします。

こちらのほう、工事施工段階の中になりますけれども、施工条件の変化等に応じた適切な設計変更と  
いうことで、施工条件と実際の工事現場の状況が一致しない等の場合、適切に設計変更及びこれに伴い  
必要となる請負代金の額や、工期の適切な変更を行うことが必ず実施すべき事項とされてございます。

本市におきましても、条件と現場が一致していない等、そういった場合には、桑名市建設工事設計変  
更等取扱要領及び設計変更ガイドラインに基づきまして、請負代金の額や工期について変更契約を締結  
し、適切に処理を行っているところでございます。

最後、5点目になりますけれども、資料のほうは13ページをお願いいたします。

こちらのほう、発注関係事務の各段階とは別になりまして、発注体制の強化等の中になりますけれど  
も、発注者間の連携体制の構築ということでございまして、地域発注者協議会等を通じて各発注者の発  
注関係事務の実施状況等を把握するとともに、各発注者は必要な連携や調整を行い、支援を必要とする  
市町村等の発注者は、地域発注者協議会等を通じて県や都道府県の支援を求めるとされてございます。

こちらのほう、本市が主体となるものではございませんけれども、昨年度に中部ブロック発注者協議  
会、愛知、岐阜、三重、静岡の4県で中部ブロック発注者協議会というものが設立されておきまして、  
その各県におきましても部会が設置されましたので、三重県部会を通じまして発注者間の連携を図っ  
ているところでございます。

必ず実施すべき事項については以上となります。

その他にも、実施に努める事項ということで、工事発注時期の平準化や、そういったことが書かれて  
ございますので、こちらのほうについても確認しながら取り組みのほうを進めてまいりたいと考えてお  
りますので、よろしくお願いいたします。

説明については以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの指針の中で、特に必ず実施すべき事項に絞って説明をしていただきましたが、これにつ  
きましてご意見、ご質問などがございましたら、よろしくお願いいたします。

すみません、詳しくないので、非常に基本的な質問になってしまうんですけど、予定価格の事前公表  
か事後公表かということで、この指針だけを見ると、原則として事後公表というふうにはなっている  
んですけども、今、三重県の様子ですとか、この市の様子は聞かせていただいたんですけども、周  
りの自治体の傾向というのは、現状としてはいかがでしょう。

#### 【事務局】

本県、三重県の中でお話をさせていただきますと、北勢地域、四日市さんですとか鈴鹿市さんですと、  
予定価格は事前公表を、私がつかんでいる限りでは、してみえます。鈴鹿市さんにおかれましては、再  
低制限価格についても事前公表を一部実施されてみえるということもありまして、そちらのほうは、こ  
ちらがどうこう言う話ではないんですけども、一部事後公表にするというような制度改正を行ったと  
いうことも聞いております。

#### 【委員長】

基本的には、ここだけを読むと、事後公表したほうがダンピング受注を防止するためにはいいとい  
うことで、事前公表の場合はそういう、どう言えばいいとか、あったんですかね、あれはどう捉えられ  
いいですかね。

#### 【事務局】

特に本市に限っての話をさせていただきますと、予定価格を事前公表することによりまして、予定価  
格を探り出すというような不正な働きかけを防止できるということと、本市におきましては、再低制限

価格制度につきましても、変動型の最低制限価格制度ということで導入をさせていただいておりますので、そちらのほうについても、事前に探り出すことができない、業者さんの入札額によって最低制限価格が変動するような制度になっておりますので、そういった不正を防止する観点から事前公表という形でさせていただいております。

【委員長】

了解しました。

ほかにはいかがでしょうか。

【委 員】

競争参加者の技術審査ですけど、成績評定というのが現在どうのように評定されているかということと、成績が入札にどの程度反映されているかということをお聞きしたいんですけど。

【事務局】

事務局の加藤と申します。

工事の成績評定につきましては、工事の完成検査をさせていただいたときに、目的物に対しまして給付の確認と品質の確認を行った上で点数化しております。成績の対象としましては、請負代金が250万以上の工事を想定しております。成績の点数によって業者さんの次回以降の入札に対する優遇措置なりペナルティーなりは設定してございません。ただ、今後とも品質確認法におきましては、工事の評定が各自治体によってまちまちになってございますもので、その統一を図るように今後は連絡していくような状況でございます。

【事務局】

1点、補足をさせていただきますと、入札の中で総合評価落札方式というものがあるんですけども、そちらのほうで工事成績のほうの評価点というのが入っております、総合評価につきましては、割合としては大きくないんですけども、一部工事成績のほうは入札の中で反映をさせていただいているところでございます。

【委 員】

発注側も多分工事の監督をされると思うんですけど、発注側も工事の監督をしていて、それどおりできるのが当たり前なのかなという気はするんですけど、そこで成績ということになると、どういう違いで成績が、あまりにも雑だと、発注側からの要求が多い場合は成績が悪いか、どんなふうに点数をつけられているのかというのをちょっと教えていただきたい。

【事務局】

事務局の加藤です。

工事の評定の仕方といたしましては、発注課の監督、発注課の所属長、そうしまして、検査官の3人で成績を点数化しております。その際に主となりますものは、先ほども申しました給付の確認と品質の確認に重点を置きまして、そのほか地域に貢献している要素もございますけれども、受注者、発注者の間で目的物をつくっていくという目標において、その中で設計図書に基づくことを進めていくという中で、特段、特別な事象が発生しない限り、進んでいくものではございますが、不測の事態におきましては、受注者・発注者間で書面において協議を行いまして目的物を達成していくという手順を踏んでおります。ですので、発注者と受注者、どちらがというわけではなくて、目的に対して発注者、受注者、互角の立場において工事を進めていくということを主眼としております。ですので、特段、点数化することにおいて主観的な部分はあまりなくて、客観的に評価するような基準もございますもので、それに基づいて評価させていただいております。

以上でございます。

【委 員】

1点だけ、最初、給付って言われました、給付って何でしょうかという、どういう字を書くのかもわからない。

【事務局】

給付の確認と品質の確認という2つの主眼がございまして、給付といいますのは、橋の寸法であるとか、高さだとか、そういう物理的なものを主に指します。品質というものは、橋をつくるのにつけてコンクリートを使うのであれば、コンクリートのかたさなり、やわらかさなり、そういうものを評価するという基準でございまして。

【委員】

ちょっと興味があって突っ込むのでございますけど、コンクリートのかたさは、サンプルか何かとって、それでかたさのチェックをするとか、実験するとかいうことですか。

【事務局】

基本的に、生コンを買うときに、JIS工場の工場から買ってくるのが大部分なんですけれども、日本工業規格に準じた工場製品でございまして、こちらが指定したかたさ、扱いやすさに準じたものを納入していただくという仕組みになってございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

給付って、字はどういう字なんですか、私もちょっと。

【事務局】

「給食」の「給」に、「付帯」の「付」です。

【委員長】

そうなんですか。一般の人はあんまりなじみがないので、いかにして認識させるか。

それでは、この指針につきましては、一応ご意見、質問等はここまでといたしたいと思います。

#### (4) 抽出事案の審議について

【委員長】

では、続きまして、議事の(4)抽出事案の審議についての項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして、抽出案件3件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めたいと思います。よろしくお願いします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の3件の抽出理由につきまして伊藤委員のほうから説明をお願いします。よろしくお願いします。

【委員】

今回は3件抽出するということで、ご説明させていただきます。

まず、1件目は、桑名市役所本庁舎外壁PC板取付補強工事ですが、これにつきましては、落札率が高いこと、それから、発注金額が高額であるということ、それに対しまして、応札業者が少ないということがございましたので抽出いたしました。



2件目は、西口駅前線道路整備他工事ということで、こちらにつきましても、発注金額が高額であるということで抽出いたしております。

それから、3件目は、桑名市役所本庁舎外壁PC板取付工事監理業務委託ということで、落札率が高いということ、それから、随意契約であるということで、随意契約の理由というのをお聞かせいただけたらなと思ひまして抽出いたしました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

## 抽出事案 1 桑名市役所本庁舎外壁PC板取付補強工事

【委員長】

それでは、第1案件です。桑名市役所本庁舎外壁PC板取付補強工事につきまして、まず、発注担当課様のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についてのご説明をお願いします。

よろしくお願いします。

【担当課】

建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

それでは、工事概要をご説明させていただきます。

工事名、桑名市役所本庁舎外壁PC板取付補強工事。設計金額8,975万1,240円。工期につきましては、契約日から平成28年1月29日までといたしております。

概要につきましては、内容項目として大きく3項目ございます。

まず、1点目の桑名市役所本庁舎の外壁に取りつけられているPC、プレキャストコンクリート板の改修でございます。平成26年度にこの庁舎の耐震補強工事は完成させていただきましたが、これは構造躯体に対しての工事であり、この庁舎はその構造躯体の外に外壁としてPC板が意匠的に取り付けられていることから、その取り付け部の調査を行ったところ、補強が必要であることが判明したため、PC板の取り付け補強を行う工事でございます。数量につきましては、全PC枚数352枚中257枚の補強改修を行います。その方法は、PC板に穴をあけ、ワイヤにて構造躯体に緊結する方法でございます。

2点目の防火区画改修につきましては、各階ごとに水平区画しなければならない箇所に不燃材を取りつける改修を行います。

3点目の内装改修につきましては、前段の2点の改修を行った部分の改修を行います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局より発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料のほうは8ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している建築工事業の特定許可業者で、経審点数が620点以上の者、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成16年度以降、官公庁元請で、建築工一式工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の監理技術者を配置することとして公告をいたしました。

続きまして、入札の経過及び結果でございます。

資料のほうは9ページをお願いいたします。

平成27年1月7日に入札を行いましたところ、1者から応札がありました。開札の結果、最低制限価格以上、予定価格の範囲内でありましたので、株式会社伊藤工務店を落札候補者といたしまして、事

後審査を行いましたところ、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き8,280万円で契約を締結したものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、よろしくお願いします。いかがでしょうか。

【委 員】

PC板取り付けは、補強を要するというのが判明したのは耐震補強工事をされた際ですか。

【担当課】

お答えさせていただきます。

判明しましたのは、先ほど言いました平成26年度にこの庁舎が耐震補強工事を行っております、その前段といたしまして、耐震補強工事のプロポーザルとか、いろいろな方法で設計者を決めさせていただいたわけなんですけど、その時点で調査をかけたところ、そういうことが判明しましたので、今回取りつける工事といたしました。

以上でございます。

【委 員】

耐震補強工事を施工された業者と今回の落札業者は違うんですか、同一ですか。

【担当課】

お答えさせていただきます。

違います。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

【委 員】

抽出席理由の1つに挙げました、応札業者が1者しかなかったわけなんですけれども、桑名市内の該当する、応札できる事業者さんというのは何者ぐらいおられます、いらっしゃいますか。

【事務局】

市内に登録のある、こちらのほうの条件に合う業者につきましては8者ございます。その中で、同種工事は建築工事一式ですので、ほぼあると思うんですが、技術者さんなり、ほかの工事ということで多分入ってみると配置ができないのでということで応札をされなかった業者さんもあると考えております。

【委 員】

毎回のことなんですけれども、やはり応札が少ない中での入札というのは、どうしても競争原理に欠けるところがあるのかなという懸念って、ただ、応札してもらわなかったらどうしようもないということでもあろうかと思うんですけれども、8社あるのなら何か、しかもこれだけ大きい金額の工事だから、2、3者あってもいいんじゃないかなと考えたんですが、市側としては、こういった状況というのは何か対策みたいなことを考えていらっしゃるんでしょうか。

【事務局】

対策といいますか、何者入ってきていただけるかというのは、ある意味、開札を行うまでわからない部分がありますので、非常に各業者さんに入ってきてくださいということをこちらのほうからなかなか言いがたい部分もありますので、各業者さんにつきましては、電子入札のほうで公告という形でさせていただいて、それを毎週させていただいておりますので、それは見ていただいております、質問等もいただいたりしますので、この部分はこれ以上しようがない部分はあるのかなとは考えるんですけれども、競争性というところは事務局といたしましても検討課題であると考えておりますので、また、発注のほうの、1億5,000万未満の部分で市内優先発注というものをさせていただいておりますので、

そこで業者さんが市内の業者さんですと限られてくるということもございますので、他市の状況を見ながら、準市内の業者さんであるとか、そこまで広げるかどうかという検討はする必要があるかとは思いますが、その部分につきましても、なかなか難しいところがあるのではないかと考えています。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

ほかの自治体の場合も、結果的に1者しか応札してこなかった場合も、しょうがないと一々やしょうがないんですかね。どういったような状況なんですか。

【事務局】

他の自治体の中には、指名競争入札とかならありますが、1者の場合は入札を無効にするという団体であるとか、あと一般競争入札でも、事前に入札資格を審査する場合に、1者しか手を挙げるところがないというような状況であれば、一旦入札を取り消すというふうな措置をとって見えるところもあるように認識しております。

桑名市の場合におきましては、入札資格は事後ということになっておりますので、基本的にはふたをあけるまで何者入ってみえるかわからないということで、有効な入札という形で取り扱いをさせていただいております。

【委員長】

それでは、この案件につきましては、特に問題はないと思いますけれども、競争性の確保という点は非常に重要ですので、また研究のほうを進めていただいて、よりよいものを目指していただきたいと思いますということにしたいと思います。

## 抽出事案 2 西口駅前線道路整備他工事

【委員長】

それでは、次の第2案件です。西口駅前線道路整備他工事につきまして、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

【担当課】

桑名駅周辺整備事務所の加藤と申します。

それでは、工事概要についてご説明いたします。

工事名、西口駅前線道路整備他工事。場所は資料のほうの12ページ、桑名駅西口付近の工事をしております。設計金額4,633万3,080円。工期、当初、平成27年3月10日から27年3月30日まで、変更いたしまして、平成27年8月31日までの工期としております。

工事概要としましては、道路土工一式、ボックスカルバート75メートル、側溝工150メートル、街渠工98メートル、街渠ます及び集水ます工一式、仮污水管布設工事としまして287メートルを施工するような工事でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をいたします。

資料のほうは20ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、市内に本社または本店を登録している土木工事業の許可業者で、3,000万円以上の下請契約を予定する

場合は、一般の許可業者は不可と規定しております。経審点数が630点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成16年度以降、官公庁元請で、土木一式工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、その他といたしまして、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとして公告をいたしました。

続きまして、入札の経過及び結果でございます。

資料のほうは21ページをお願いいたします。

平成27年2月25日に入札を行いましたところ、8者の応札があり、開札の結果、1者が最低制限価格の算出基準価格を下回ったために失格といたしました。そのため、有効な札は7となりますので、最低制限価格については変動をしておりません。有効な札のうち、最も低い価格で応札したものが5者ありましたので、電子くじにて株式会社石川組を落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き3,624万1,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

では、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

【委員】

こちら金額の大きい工事だったということで抽出したんですけれども、入札経過のところ、これも毎回言っています、いわゆる積算の制度が非常に皆さん高いものですから、同じ金額を出された業者さんが5者あったということで、電子くじでやっておられますので、ここで何か不正がということではなくて、入札業者さんの中で、1者だけ飛び抜けて高い金額で出されたところがあって、こういうこともあるんですかね。ある価格帯に大体皆さんが張りつくんですけれども、こういうこともあるんですかね。

【事務局】

事務局の感覚的な話になってしまうんですけれども、応札をされて落札をされた業者さんというのは、最低制限価格なりの算出基準価格のところに張りついてみえるというのはおっしゃるとおりだと思いますし、あと高い業者さんというのは、ちょっと極端に高いものではあるんですけれども、桑名市の場合、変動型の最低制限価格を採用しておりますので、もし、こういう高い業者さんが何者か応札されてみると、この金額が最低制限価格を算出するときに足し算の中へ入ってきて、そのことによって最低制限価格が上昇した場合、落札候補者となる可能性があるということで、そのあたり、そう狙われてという部分もあるようなことを思うんですけれども、そういったことが増えてきますと問題かなとは考えるところでございますけれども、現在のところ、そういった高どまりするようなこともなく推移しておりますので、今のところは推移を見守らせていただくような形で運用させていただきたいと考えておるところでございます。

【委員】

うがった見方をすれば、最低価格を上げながら調整するみたいなことで、あえてちょっと意欲のないところが高めを入れてきたりなんていうこともあるのかなと今お話を伺いながら考えてしまいましたけれども、ただ、この手の経過に関しては、落札率もそれなりに低いというか、高過ぎないところにおさまっている印象でしたけれども、やはり金額の高いものはそれなりに、工事の内容は違うかもしれませんが、入札参加者が出てくるものと、先ほどのように1者しか来ないものと、何か極端になってきているなという印象でございます。

以上です。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては、特に大きな問題はございませんけれども、常に検証のほうは続けていただいておりますけど、変動型最低制限価格方式の副作用というか、その高どまりという点につきましては、常時見続けて整理をやっていただきたいというふうに思います。

それでは、この案件につきましては以上にしたいと思います。

### **抽出事案 3 桑名市役所本庁舎外壁PC板取付工事監理業務委託**

#### **【委員長】**

それでは、第3案件です。桑名市役所本庁舎外壁PC板取付工事監理業務委託につきまして、発注担当課から工事概要及び随意契約理由の説明をしていただき、その後、事務局から入札経過について説明をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

#### **【担当課】**

続きまして、建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

桑名市役所本庁舎外壁PC板取付工事監理業務委託の概要を説明させていただきます。

委託名、桑名市役所本庁舎外壁PC板取付工事監理業務委託、設計金額394万2,000円でございます。工期といたしましては、契約日から平成28年2月12日まででございます。内容につきましては、桑名市役所本庁舎外壁PC板取付補強工事の施工に伴う監理業務を行うことでございます。

また、随意契約の理由を述べさせていただきますと、工事監理業務は、工事請負契約の適正な履行の確保を目的とし、工事を設計図書と照合しながら、それが設計図書どおり実施されていることか確認する業務であります。今回の業務委託業者は本工事の設計受注者でございます。本工事は、特殊な工事ではございませんが、特殊な方法にて補強する設計であることから、その考え方をしっかり施工業者に伝えることが重要であることから設計業者が最適であると判断し、随意契約にて対応いたしております。

以上でございます。

#### **【事務局】**

続きまして、見積もり経過及び結果についてご説明をいたします。

資料のほうは27ページをお願いいたします。

平成27年1月14日に見積もり合わせを行い、指名業者の株式会社市川三千男建築設計事務所から見積もりを徴しましたところ、1回目、2回目につきましては予定価格の範囲外でありましたが、3回目の見積もりにおきまして予定価格の範囲内でありましたので、後日、税抜き365万円にて契約を締結したものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### **【委員長】**

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

#### **【委員】**

1回目の見積金額が1,100万円、それで、最後は365万円ということで、ほぼ3分の1以下、4分の1近い額になっていますけど、この理由はどういうことでしょうか。

#### **【担当課】**

理由は定かではないんですが、当建築住宅課が最初設計した金額の根拠といたしましては、監理業務委託金額の根拠につきましては、平成21年度に業務報酬基準として国土交通省が出された告示第15号が定められておりまして、それに基づいて算出しておりますので、市の積算は根拠がしっかりしております。

あと3回目のことにつきましては、業者さんの企業努力かなということしか察しすることができやん

のですが。

以上でございます。

【委 員】

了解しました。

本体の設計業務というのは、大体金額はお幾らぐらいなんですか。

手元になれば結構ですが、ただ、今の随意契約の理由を説明いただきますと、工事の監理について、設計業者の意図を正確に反映すると、しかも、専門的な知識を要するということなら、設計をする段階で監理業務そのものも含めて入札に付すとかいうことは考えていなかったですか。

【担当課】

当初から、監理まで一体でということとは考えてはございません。まず、設計をしていただいて、今回の件につきましては、P C板をどのような方法で落下から防ぐとか、揺れから防ぐとかということを示していただくのが設計でございまして、設計が終わりまして工事が進みますと、設計事務所さんが考えたことが正確に施工業者さんに伝わる必要がございますので、その辺のことがございましたので、一応今回こういう形とさせていただきました。

以上でございます。

【委員長】

ほかにはどうですか。

【委 員】

他の工事ではこういう監理業務というのはあんまり見ていないんですけど、どういう業務がこういう監理業務なんですか、あるいは実績があるんですか。

【事務局】

こういった監理業務を随意契約するものとしたしましては、建築物を設計していただいた業者さんと監理業務委託を結ぶことが多くございます。

以上でございます。

【委 員】

土木工事はあんまりないですね。建築は、建築設計があるからということなんですね。

【事務局】

土木工事の部分については、自前で設計する部分、金額の安いものについては自前で市役所の職員が設計をして、そのまま監督をされるというものもありますので、規模の大きな都市計画道路であるとか、そういったものについては設計を委託して、監理業務についても委託するという場合もございますけれども、土木工事については、職員が設計をして監督をするという形は多い形となっております。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

【委 員】

ここの理由書の中に、特殊な方法にてP C板を補強するという、私は専門的なことはわからないので、技術的な説明というより、どういう意味で特殊だったんですか。

【担当課】

お答えさせていただきますと、通常は、今P C板は躯体と取り付けられておる方法を改修するだけ、もとどおりの取り付け方法にするのが一番ベストかなということは考えておったんですが、設計事務所さんからの提案の中で、それが不可能に近いところがございます。なので、今回、改修取り付けは行われていきますが、このP C板の外から穴をあけて、そこにワイヤを通して、構造躯体に緊結するというふうな方法をとっております。そういうことをもって特殊な方法という言葉にかえさせていただいたわけです。

以上でございます。

【委 員】

その方法というのは、設計だけでは施工業者には伝わらないということなんですね。

【担当課】

委員がおっしゃるとおりで、設計は全てを網羅する内容ではあるんですが、改修工事でございますので、ふたをあけてみないとわからんというふうなこともございます。それですので、それに即座に対応していく必要がございますので、その辺の対応ができる業者となってくると、当初のPC板を改修する設計業者さんが唯一かなということで判断しております。

以上でございます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほかはどうでしょうか。

そうすると、建築物の場合は、設計業務と別に監理業務というのが一般的にあって、それで、設計業務と監理業務が同じところにしてもらうことになるというのは一般的ではないという、この場合はやや特殊性があったので同じということで、そういう認識なんですか。どうなんでしょう。

【担当課】

委員がおっしゃられる、そのとおりでございます。設計委託しても、その内容が我々でも監理ができる内容であれば、直営で自分らの職員が監理する場合もございます。ということで、今回の場合は、そういう取り付け方法等、やはり設計事務所のノウハウが必要なものにつきましては監理委託をさせていただくということが実情でございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかはよろしいでしょうか。

【委員】

これは、この工事ではなくて、もとの話になってしまうのかもしれませんが、いろいろなものと建築物とかは使っていく間にやはりメンテナンスが必要になるものですので、そうすると、例えば、新規のデザインで新しい形のものでというところを選ぶ場合もあるのかもしれませんが、メンテナンスのことも考えて、後々あまりに余分な費用がかからないような方法も考えつつ、最初の契約発注の段階で考えていただくといいのじゃないかなと、ちょっとそういう感想を持ちました。ありがとうございました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては特に問題はないということになります。ただ、今伊藤委員のほうからもご指摘があったように、特にこれから少子高齢化とか人口減少の中で、いろいろこういうストックというか、建物については長期にわたるメンテナンスの費用というのを含めた形での考え方が重要になってくると思うので、その点も含めて十分に検討をしていっていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、抽出事案の審議は終了いたしたいと思います。

それでは、関係者の方、どうもありがとうございました。

【事務局】

どうもありがとうございました。

【委員長】

では、次回の審議案件の抽出につきましては、名簿順によりますと赤木委員でございますけれども、偶然、本日欠席されておりますので、また事務局のほうからご連絡をよろしくお願ひしたいと思います。

## (5) その他

【委員長】

では、次の議事です。(5) その他についてですが、何かございますでしょうか。

【事務局】

事務局のほうからは特にございません。

【委員長】

委員の方、特にありませんでしょうか。

【委 員】

(特になし)

## 3 閉会

【委員長】

それでは、これにて平成27年度第1回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。また、本日の審議概要につきましては、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。